

平成30年度 自治会アンケート調査 結果

調査票配布数
回 答 数
回 答 率

自治会
149自治会
128自治会
85.9%

地区別回答率（地区別自治会数）

- 1. 平生地区東部地域（35）
- 2. 平生地区西部地域（38）
- 3. 大野地区（25）
- 4. 曾根地区（25）
- 5. 佐賀地区（26）

自治会数	%
28	80.0%
34	89.5%
21	84.0%
21	84.0%
24	92.3%

「佐賀地区」が92.3%と最も高く、次いで「平生地区西部地域」の89.5%となっています。

行政協力員について

問1 行政協力員の性別

- 1. 男性
- 2. 女性

人数	%
100人	78.1%
28人	21.9%

「男性」の割合がおおよそ5人に4人となっています。

問2 行政協力員のの年齢

- 1. 20歳代以下
- 2. 30歳代
- 3. 40歳代
- 4. 50歳代
- 5. 60歳代
- 6. 70歳代
- 7. 80歳代
- 8. 90歳代

人数	%
1人	0.8%
9人	7.0%
12人	9.4%
17人	13.3%
43人	33.6%
41人	32.0%
5人	3.9%
0人	0.0%

「60歳代」が33.6%と最も高く、次いで「70歳代」が32.0%となっています。前年度より割合は低下しましたが、60歳以上が全体の約65%を占めています。

問3 行政協力員の職業

- 1. 会社員
- 2. 公務員
- 3. 自営
- 4. 無職
- 5. その他

人数	%
41人	32.0%
4人	3.1%
5人	3.9%
60人	46.9%
18人	14.1%

「無職」が46.9%と最も高く、次いで「会社員」が32.0%となっています。

問4 自治会活動に月に何日ぐらい従事されていますか。

- 1. 3日以下
- 2. 6日以下
- 3. 9日以下
- 4. 10日以上
- 5. 無回答

人数	%
58人	45.3%
30人	23.4%
7人	5.5%
10人	7.8%
23人	18.0%

「3日以下」の自治会が45.3%と最も高く、次いで「6日以下」が23.4%となっています。

自治会の現状、課題について

問5 現在の貴自治会の規模をどう感じていますか。それぞれ1つ選んで○をしてください。

世帯数

- 1. 少ない
- 2. ちょうどよい
- 3. 多い
- 4. 無回答

人数	%
27人	21.1%
82人	64.1%
16人	12.5%
3人	2.3%

範囲

- 1. 狭い
- 2. ちょうどよい
- 3. 広い
- 4. 無回答

人数	%
8人	6.3%
89人	69.5%
19人	14.8%
12人	9.4%

世帯数は「ちょうどよい」が64.1%と最も高く、範囲も「ちょうどよい」が69.5%と最も高かったですが、世帯数が「少ない」「多い」、範囲が「広い」という意見もありました。

問6 貴自治会で実施している活動について、該当するものすべてに○をしてください。(複数回答)

- 1. 自治会総会
- 2. 地域内の美化、清掃活動
- 3. 街路灯の整備、維持管理
- 4. 募金活動
- 5. ごみ集積所の管理
- 6. 祭り、伝統行事
- 7. 自治会内の広報・チラシの作成、配布
- 8. 会員名簿の作成
- 9. 住民の苦情の調整
- 10. 集会施設の維持管理
- 11. 防災活動
- 12. 親睦会の開催
- 13. 地域内の声かけ運動
- 14. 高齢者の見守り
- 15. 防犯活動
- 16. 交通安全指導
- 17. 運動会等スポーツ活動
- 18. 何もしていない
- 19. その他

人数	%
100人	78.1%
102人	79.7%
88人	68.8%
92人	71.9%
98人	76.6%
78人	60.9%
88人	68.8%
63人	49.2%
60人	46.9%
46人	35.9%
49人	38.3%
25人	19.5%
29人	22.7%
25人	19.5%
18人	14.1%
7人	5.5%
2人	1.6%
4人	3.1%
3人	2.3%

「地域内の美化、清掃活動」が79.7%と最も高く、次いで「自治会総会」が78.1%となっています。

問7 自治会を運営する上での課題について、該当するものすべてに○をしてください。

- 1. 構成員の高齢化
- 2. 役員のなり手がいない
- 3. 他の自治会との連携が弱い
- 4. 活動の参加者が少ない
- 5. 役員の負担が大きい
- 6. 行事のマンネリ化
- 7. 集会施設・活動拠点施設がない
- 8. 地域住民の協力が得にくい
- 9. 構成員の交流が難しい
- 10. 自治会未加入世帯の増加
- 11. 自治会世帯数の減少
- 12. 活動のための資金不足
- 13. 活動のための情報不足
- 14. 特に課題はない
- 15. その他
- 16. 無回答

人数	%
87人	68.0%
50人	39.1%
37人	28.9%
31人	24.2%
23人	18.0%
25人	19.5%
12人	9.4%
13人	10.2%
16人	12.5%
4人	3.1%
43人	33.6%
13人	10.2%
7人	5.5%
15人	11.7%
5人	3.9%
7人	5.5%

「構成員の高齢化」が68.0%と最も高く、次いで「役員のなり手がいない」が39.1%となっています。

問8 問7で○をつけた課題について、貴自治会では課題解決のための取組を検討・実施されていますか。検討・実施していると答えた方は、その取組内容を記入してください。

- 1. 検討・実施している（取組内容 5ページ）
- 2. 検討・実施していない
- 3. 無回答

人数	%
14人	13.2%
65人	61.3%
27人	25.5%

「検討・実施していない」自治会が61.3%と「検討・実施している」自治会を大きく上回っています。

集会所について

問9 集会所を所有していますか。

- 1. あり(所有)
- 2. あり(借用等)
- 3. なし
- 4. 無回答

人数	%
45人	35.2%
26人	20.3%
51人	39.8%
6人	4.7%

所有・借用合わせて、半数以上の自治会が集会所を持っています。

問10 集会所を整備(新築・増改築・修繕等)する予定はありますか。

- 1. ある
- 2. ない
- 3. 未記入

人数	%
3人	2.3%
112人	87.5%
13人	10.2%

整備予定のある自治会は3自治会にとどまっており、「ない」と答えた自治会がおよそ90%となっています。

問11 整備の種別について該当するものすべてに○をして、予定年度を記入してください。

- 1. 新築(建替、購入)
- 2. 増改築
- 3. 修繕

人数	%
0人	0.0%
0人	0.0%
3人	100.0%

整備の種別について、整備予定のある3自治会全てが「修繕」と答えています。予定年度については、平成30年度が1件、平成31年度が1件、未記入が1件となっています。

問12 集会所の整備の予定がない理由について、該当するものすべてに○をしてください。

- 1. 整備資金が不足している
- 2. 建設用地がない
- 3. 会員数が少ないため、集会所は必要ない
- 4. 現行の集会所で十分のため、増改築・修繕等は必要ない
- 5. 公共施設等が一時的に利用できるため、集会所は必要ない
- 6. その他
- 7. 未記入

人数	%
22人	17.6%
18人	14.4%
15人	12.0%
36人	28.8%
37人	29.6%
9人	7.2%
21人	16.8%

「公共施設等が一時的に利用できるため、集会所は必要ない」が29.6%と最も高く、次いで「現行の集会所で十分のため、増改築・修繕等は必要ない」が28.8%となっています。

協働のまちづくりについて

問13 この一年間で、貴自治会はコミュニティ協議会の行事や事業に参加・協力したことはありますか。参加・協力したことがある場合は、その行事・事業名、貴自治会からの参加人数を記入してください。

- 1. ある (行事・事業名 6、7ページ参照)
- 2. ない
- 3. どのような活動をしているかわからない
- 4. 無回答

人数	%
83人	64.8%
41人	32.0%
0人	0.0%
4人	3.1%

「行事に参加したことがある」が64.8%と半数以上の自治会が参加しています。

問14 現在の貴自治会の活動の中で、コミュニティ協議会と協働した方がよい活動があれば記入してください。その際、貴自治会でできることを記入してください。

8ページ参照

問15 本町における今後のまちづくりや自治会活動において、ご意見ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

9、10ページ参照

平成30年度 自治会アンケート調査

問8 問7で○をつけた課題について、貴自治会では課題解決のための取組を検討・実施されていますか。検討・実施していると答えた方は、その取組内容を記入してください。

NO.	取組内容
1	①役員は毎年輪番制としているため、その都度戸別訪問による了解の上決めている。 ④自治会内行事(作業)には参加者多数。活動費のアップ(自治会の唯一の収入源である)を希望。
2	班員の高齢化に伴い、役員のみ手がなくなるため、できるだけやりやすいように班の統合等で補っている。
3	新年互例会を実施し、交流をはかっている。
4	行事の時は回覧をまわしている。
5	運用は病院が管理しているため、検討のしようがない。
6	①、⑨に対する検討:1.婦人部を復活したらどうか、2.壮年部(青年部)を結成→自治会、役員会で話し合っている。
7	取り組み方の検討の段階です。無しと同じ状況です。
8	当団地は高齢世帯および女性一人世帯等により、役員選定が厳しくなっているが、役員交代順位表を作成して、半強制的に自治会長ほか役員を決定しており、当面は自治会活動運営はできていると思われる。2年以上、継続して役員をしたいと思う人がいない状況である。
9	集会所の件は資金と労力で目途が立たず、既設の建物を撤去しないと前に進まない。 高齢化で役員すらできない事態が発生している。そのため、順番を飛ばさず回覧させてきたが、1件飛ばすと次々に役員ができない人が増える。無理をせず、できることだけを行ってほしいのだが。
10	④広報等回覧時に「メモ」で再通知(参加の呼びかけ)をしている
11	回覧の回数を増やしている。
12	②順番制をとっている(可能な人) ④事前呼びかけをしている。
13	30～50歳代に声をかけ、イベント開催
14	高年齢化により体力的に活動困難者の増加にともない、呼びかけられない。
15	少子高齢化が進んでいるため、解決策がないのが現状です。浜田漁港の空き地に小型の企業でも来てくれればと思いますが。水が必要であれば海水を淡水化すればいい。
16	ひとり暮らしの方への声かけなど行うようにしている。(近所の人、親しい人で)
17	特に何もしていない。高齢化などはどうすることもできない。高齢化に伴い、できることにも限界がある。

平成30年度 自治会アンケート調査
問13 参加した行事

NO.	行事名
1	ふれあい祭り:5名、年末大掃除:4名、どんど焼き:5名、部会報告会:4名、一斉清掃:12名、防災設備 クリーンアップ:3名、盆踊り大会:5名、敬老会:5名、防災訓練:5名
2	沼八幡様夏祭り:24名、宇佐木地区一斉清掃:9名、観音様周辺清掃:13名、観音様縁日:17名、宇佐 木地区盆踊り大会:4名、自治会一斉清掃:38名、宇佐木地区防災訓練:15名、地域清掃活動:31名
3	クリーン作戦、盆踊り、ふれあいまつり、どんど焼き、一斉清掃:各10名~20名
4	コミュニティ総会:14名、コミュニティ部会:14名、コミュニティ親睦会:9名、盆踊り大会:75名、敬老会: 41名、クリーン作戦:30名、防災訓練:116名
5	どんど焼き:58名、防災備品体験学習:3名、盆踊り:34名、敬老会:13名、ふれあい祭り:25名、地域ク リーン作戦:34名
6	ふれあい祭り:3名、盆踊り:2名
8	防災訓練:6~7人、宇佐木コミュニティまつり:4~5人、敬老会:5人
9	宇佐木盆踊り大会:7人、敬老会:12人、宇佐木地区清掃活動(3、7、10月):延べ30人、宇佐木ふれあ い祭り:7人、どんど祭り:5人
10	豎ヶ浜ふるさと祭り:10名
11	豎ヶ浜ふるさと祭り:21名、盆踊り大会:19名、地域清掃活動:15名
12	清掃活動:17人
13	豎ヶ浜ふるさと祭り:5名、草刈り:5名
15	河川清掃:19名、盆踊り:1名、敬老会手伝い:1名、ふるさと祭り(清掃・準備・手伝い):4名
16	清掃活動(年2回):60人、夏祭り(沼八幡宮):20名、新年互例会:25名
17	防災会議:7人、敬老会:6人、避難訓練:24人
18	溝掃除:約50名、清掃活動:約10名
19	防災訓練:15名、地域清掃:20名
20	十七夜まつり:約7名、文化祭片付け:約5名
21	地域清掃活動
23	避難訓練
24	御旅所の清掃:約15名
25	避難訓練:約18名
26	避難訓練:18名
27	地域清掃活動:約30名
28	自治会として参加することはありませんが、回覧等を見て参加する方々はあると思う。
29	地域清掃活動:約40名、これとは別に4~5人の方が落ち葉の清掃をほとんど毎日作業されている。
31	地域清掃活動(野島神社、地域の溝清掃):約60~70名(年間)
32	防災活動、清掃活動、祭り等(人数不明)
33	地域清掃活動(地区草刈り):34名、町内一斉清掃:3名、地区内一斉避難訓練:約18名、地域清掃活 動(地区草刈り):30名
34	盆踊り大会:3名、清掃活動(ゴミ拾い):2名、避難訓練:5名
35	地域清掃活動、防災訓練
36	地域清掃活動:26名、防災会議:1名
38	春・秋地域溝掃除:25名
39	防災会議:約1名、盆踊り:約11名
40	公園草刈り:11人
41	防災訓練:14名
42	防災会議:1名、避難訓練:2名
43	盆踊り:5~6人、敬老会:2人、地域清掃活動(通学路):2人、お宮周辺清掃:18人
44	地域清掃活動においては、2軒を除き参加している。協議会の行事については、場所柄近くなので7 ~8人はいつも出席しているが、その都度の人数までは把握していない。
46	コミ協からの「知らせ」は配布する(声かけも含む)が反応なし
47	盆踊り大会:4名、通学路掃除:2名
48	盆踊り大会:2名
49	盆踊り:3名、地域清掃活動:6名
50	みんなのまつり:約10名、お花見会:2名、敬老会:4名、クリスマス会:2名、道路整備:2名、どんど焼 き、清掃活動:2名、運動会:2名

51	盆踊り大会:5名ぐらい
52	道づくり:30名、神主を呼んでのおはらい:10名
54	通学路の掃除:15名
55	地域清掃活動:約80名
56	盆踊り大会、草取り・準備・後片付け(会長のみ)、通学路草取り2回(会長のみ)
57	清掃活動:約5~6人、溝掃除:約30人
58	敬老会:参加3人、協力1人
59	盆踊り大会:約3名、地域清掃活動:10名、大野みんなのまつり:約3名、通学路の整備:約3名
61	さくらまつり:10名
62	地域ぐるみ一斉清掃:15名
63	どんど焼き:10~20名、花見:約50名、盆踊り:約50名、公民館まつり:約100名、道普請:約50名
64	盆踊り大会:約5名、地域交流センター祭り:約5名
65	一斉清掃:8人
66	地域清掃活動:10人
67	ごみ拾い:6名、地域清掃(草刈り):11名
69	地区のごみ拾い:3名
70	ふれあい曾根盆おどり大会:3名、曾根地域交流センターまつり:4名、ふれあい花壇整備:3名、地域ぐるみ一斉清掃:2名
71	地域清掃活動:12名
72	地域清掃活動:約8名、忘年会
73	地域清掃活動:約16名、夏祭り(神社):8名
74	毎月第1日曜日の浜明神の清掃
75	ふれあい桜まつり協力・参加:12名、おもてなし敬朗会協力参加:7名
77	曾根盆踊り大会:約4名、交流センターまつり:約7名、地域ぐるみ一斉清掃:10名
78	道打ち、海岸清掃、防災訓練、収穫祭
79	資源回収:19名
80	敬老会:4名、町内清掃:5名
81	どんでん押山
82	県道の草刈り:47名、大田川の草刈り:10名
84	清掃活動:15名、海のゴミ問題あり
85	秋祭り:4名
86	地域清掃活動:20人、どんでん押山事業:10人
87	夏祭り、どんでん押山、地域清掃等には部落(29世帯)各1~2名の協力が得られています。
88	資源ゴミの回収:積極的に協力している(出せる家庭は毎月)
89	サロン:4人、送迎サービス運転手:1人、秋祭り:3人
90	どんでん押山:人数は把握していない
92	秋祭り:4名
93	神花社掃除:73人(年間14回、6~7人)、盆踊り大会:30人、準備7人、片付6人、道路他道掃除:25人、夏祭り準備:3人、どんでん押山:12人
94	どんでん押山:10名、その他古紙、段ボール出し:各世帯
95	地域清掃活動:12×2~3名、盆踊り大会:3名

平成30年度 自治会アンケート調査

問14 現在の貴自治会の活動の中で、コミュニティ協議会と協働した方がよい活動があれば記入してください。その際、貴自治会でできることを記入してください。

NO.	内容
1	防犯・防災パトロール役の取りまとめ、各自治会から町への申請を個別に行うより、コミ協でまとめて申請してもらえば効率大であると思います。 周辺整備(町の管理地等)は、コミ協が町と折衝し、請ける形を取ったらどうでしょうか。(ボランティアでは不可)
2	部落の活動が少ないので、宇佐木コミュニティで活動がある時参加しています。(主に男性の方が行ってくれています。)
3	防災訓練、参加者人数
4	防災訓練、参加者の把握
5	防災訓練、参加の呼びかけ
6	防災訓練、自治会員への呼びかけ
7	防災訓練(消防団といっしょに実施した方がよい)
8	防災訓練
9	防災訓練をより具体性をもって実施する。規模は小さくてよい。
10	自治会員への参加の呼びかけ
11	自治会としては、各班長と話し合い、各々の班長が声掛け合い引率する。
12	自治会員への参加の呼びかけ
13	防災訓練
14	高齢化に伴い、参加・協力が難しくなっています。
15	思いつきません。
16	防災に対する意識強化、防災訓練、自治会員への呼びかけをする
17	防災訓練
18	行事ごとに呼びかけ、周知はしているが、高齢化も進んでいることから義務付けてはいない。
19	防災訓練、清掃活動
20	防災訓練、自治会員各自の意識を持つ大切さ
21	防災訓練:自治会員への参加呼びかけ
22	会員へのもれのない通達
23	参加者の把握、参加の呼びかけはできるけれども、防災訓練等の実施については、防火用具・機材等、何も無い状態であり、実施してもあまり効果は得られないと思われませんか？
24	防災訓練=参加者の把握、自治会員への参加の呼びかけ
25	防災訓練(自治会員への参加呼びかけをする)
26	コミュニティより連絡等がありますが、ネックとなるのはやはり少子高齢化であり、平生町自体が魅力あるまちづくりではなからうか？
27	避難所までの道路、方法の確認:環境整備
28	防災への体制づくり:世帯員カードづくりへの協力
29	防災訓練

平成30年度 自治会アンケート調査

問15 本町における今後のまちづくりや自治会活動において、ご意見ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

NO.	内容
1	通学路の管理をしっかりしてほしい。(草刈りや舗装されていないところの凸凹補修)
2	総会のための収支報告書等のひな型を町のホームページよりダウンロードできるようになれば、わざわざ作成する手間がはぶける。
3	行事が土日に集中しているため負担を感じる。(土日に仕事があるとき)
4	歩行不能や視覚障害等の防災・避難行動要支援者を自治会として具体的にどのようにするか。歩行時補助が必要。
5	町の目玉を作ろう。
6	高齢者をフォローするまちづくりをお願いします。
7	今、役員は輪番制になっているが、次に回ってくる時できるかどうか考えている人が多い。
8	当町においては以前から外国人労働者を受け入れてますが、その人たちの生の声を聞いて、それに対するアクションを取ったり、その情報を公開する等の対応が取られていないような気がします。これから国をあげて外国人労働者を増やす方向に向かうのであれば、当町でもそれなりの対応を考えていくべきだとは思いますが。
9	現在新町西は世帯数が20世帯ですが、80歳以上の高齢の方が7世帯もあり、今後運営上人的な問題等がでてくるのかなと心配しております。
10	自主的な活動への取り組みは人的にも財源的にも限界だと思われる。
11	西十八割は自治会長が1年ごとに代わるので、まずは毎年の行事をこなすことに精一杯で何をどのように取り組んでいいかわかりません。私自身自治会のあり方に不安を感じます。
12	子供達が喜んで集まれる(遊べる)場所が欲しいです。笑い声の聞こえる明るい町・活気のあるまちづくり。
13	回覧内容のマンネリ化
14	近所づきあいがないため、自分が何年も自治会長を続けてきたが、来年度転居予定なので、次の自治会長のあてがなく困っている。 毎年の行政協力員会議の最後の質疑応答で毎年1つの自治会が何十分も時間を使っている。(しかも自治会長としてではなく個人的な意見ばかり)その時間に付き合うのは苦痛なので、「これから質疑に入りますので、質問等ない自治会長は先にご退室ください」としてほしい。もしくは、気軽に途中退室できるようなアナウンスを。
15	人口減対策、高齢者対策、空き家対策、農地荒廃
16	町道の草刈り作業を建設課が手配してシルバーに刈らせているが管理が悪い。特に農道、パイロット道路の側溝に刈り草を落としたまま側溝が機能しておらず、このままでは光輝病院から尾国までのようになる可能性が高い。(側溝に雨水がたまり、ダム状態になって道路が崩壊した)一部のシルバーの人はPM3時ごろには自宅に帰宅し、PM5時前になって役場の駐車場に戻っている。これは税金の無駄使いであり、行政の管理不行き届きである。4、5年前にも建設課に届けたが改善がない。 先月(10月)、上野商店の少し上あたりの草刈りをシルバーがしていたが、なんと啞え煙草。モラルのない姿は行政の管理不足なのか疑問視されたい。3時に家に戻る暇があるのなら、刈った草の掃除をしていただきたい。掃除もしないのは草刈りとはいえない。2時間分の数年間の税金の無駄を返還されてはいかがでしょうか。

17	一人暮らし老人が多くなり、地域活動への参加者も減少しています。参加してみようというような行事・活動(送迎方法等も含め)の開催
18	アンケートの集約作業はご苦労なことだと敬意を表します。毎年のようにアンケート結果を自治会活動の施策に反映するとありますが、具体的なものがあれば、行政協力員会議で報告していただければありがたいです。他の自治会の状況を知ることができるメリットはあるのですが・・・。
19	町全体でのごみ拾いの時、収集にきてほしい。
20	自治会長の選出が輪番制のため、継続的な活動が難しい。
21	地区民全員の押し上げで、より活発化できたらと思います。
22	申請しても返事がない(空家、橋の塗装)
23	各自治会やコミュニティ協議会にまかされることが多くなっているように思う。まかされてできないこともあるので、行政としてできることも紹介してほしい。自治会アンケートの結果を毎年町報でみるが、どこも同じような問題をかかえていると思う。結果を発表するだけでなく、町として、どんな対策を講じたのかものせてほしい。佐賀のお助け隊の活動は住民の立場に立った活動だと思う。
24	意見・要望出してもスルーされるので・・・
25	毎年盆踊りを行っていますが、他地区の自治会も参加してもらって、合同で盛り上げてお互いの地区を活性化していきたい。
26	集会所の駐車場整備資金不足に補助があれば・・・
27	まちづくりでコミュニティ協議会を各地区で組織されているが、役員になり手がなくなる。ボランティアでなく財政援助を考えてはどうか？
28	テレビで放映されていた国内留学制度。海に接している特長を活かして、特化した事業を考えてみては？水産/商船という意味ではなく、海に接している環境を活かすという意味。例えば海外に出るための語学等はいかがか？
29	コミュニティ協議会の活動が中心となってきているようなので、自治会連合会はいらないのではないかな？
30	今のところ何とか自治会が維持されているが、高齢化が進み、一人暮らしも増えているので、近い将来どのようにしていくのかが心配される。
31	敬老会について、毎年出席者は10%程度である。町の公費23万円出ている。施策の見直しの時期にきているのではないかな。(平成29年度)
32	離島である佐合島について、色々と悪いところ(道路、水路、旧船着き場)があり、関係課へ要望するが、その場限りで何一つ実施してもらえない。